

六日町史

資料編

近世

近・現代

第二卷

目 次

口絵	3
発刊のことば	3
南魚沼市長 井口一郎	
はじめに	3
郷土史編集委員長 本山幸一	
凡例	3
近世	4
第一章 村の支配と租税	4
第一節 支配の変遷	5
第一項 近世前期の支配	6
（欠年） 戊九月	7
堀丹後守より永正庵へ寺領の寄進状	7
慶長三年（一五九八） 九月	8
堀丹後守より上村大宮司へ神領の寄進状	9
慶長十九年（一六一四） 九月	10
山田隼人正より八幡神社の大宮司へ社領の寄進状	10
書付け	10
山田藤左衛門より八幡宮神主へ諸役免除の 堀監物より富士別当坊へ神領の寄進状	10
慶長三年（一五九八） 九月	9
堀丹後守より永正庵へ寺領の寄進状	9

8	(欠年) 十月	
9	元和九年(一六二三)七月	岩倉伝右衛門より法音寺へ寺領につき書状……… 11
10	水谷又左衛門らより八幡神主へ神田の寄進状……… 11	
11	元和十年(一六二四)二月	
12	平岡二郎右衛門らより宝珠院へ畠開発につき書状……… 12	
13	(欠年) 六月	
14	荻田主馬より法音寺へ書状……… 12	
15	第二項 天和元年以降の支配……… 13	
16	明和五年(一七六八)三月	元陣屋を小千谷村から十日町村へ移す申渡し……… 17
17	天明六年(一七八六)八月	大割元役の復活を命じる通達……… 19
18	天明六年(一七八六)九月	郡奉行の回村につき村方へ申聞かせ……… 20
19	寛政元年(一七八九)三月	当年の酒造高を半石造りにするよう厳達……… 21
20	寛政七年(一七九五)一月	貯穀郷蔵の造立につき請書……… 22
21	寛政八年(一七九六)七月	六日町等四か所陣屋取毀差止め、村々へ下付のこと……… 23
22	塩沢・六日町組の他出売米につき村役人へ吟味を委任……… 24	
23	新潟津出米の検査方法改正につき申付け……… 15	
24	宝曆三年(一七五三)五月	
25	縮下値による上納金差延べ願い却下の通達……… 17	
第一項 慶長検地……… 24		
第二節 村の検地……… 24		

22	慶長三年（一五九八）九月	魚沼郡田中村の検地帳	23	泉新田村の年貢庭帳
23	慶長三年（一五九八）八月	魚沼郡野中村の検地帳	24	坂戸村の年貢米庭帳
24	天和二年（一六八二）四月	天和二年（一六八二）四月	25	延宝五年（一六七七）十二月
25	天和検地 （欠年）	検地につき屋敷高の免除願い	26	（2）年貢の割付け状と皆済目録
26	天和三年（一六八三）閏五月	検地につき村方が提出する起請文の書式	27	天和元年（一六八一）十一月
27	魚沼郡六日町村検地帳の寄せ帳	天和二年（一六八二）十一月	28	坂戸村の年貢割付け状
28	第三項 宝暦の新田検地	坂戸村の年貢割付け状	29	寛永十八年（一六四二）十二月
29	宝暦六年（一七五六）十二月	貞享元年（一六八四）十一月	30	坂戸村の年貢割付け状
30	魚沼郡東泉田村の宝暦新田検地帳	青木新田村の年貢割付け状	31	寛永九年（一六四九）十一月
31	第三節 年貢と御藏	享保九年（一七二四）十月	32	坂戸村の年貢割付け状
32	第一項 年貢	青木新田村の年貢割付け状	33	貞享元年（一六八四）十一月
33	（1）年貢に関する諸帳簿	長森村の年貢皆済目録	34	青木新田村の年貢割付け状
34	寛永十三年（一六三六）十二月	坂戸村の年貢皆済目録	35	寛文七年（一六六七）六月
35	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	36	延宝五年（一六七七）六月
36	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	37	長森村の年貢皆済目録
37	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	38	寛文七年（一六六七）六月
38	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	39	延宝五年（一六七七）六月
39	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	40	長森村の年貢皆済目録
40	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	41	寛文七年（一六六七）六月
41	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	42	延宝五年（一六七七）六月
42	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	43	長森村の年貢皆済目録
43	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	44	寛文七年（一六六七）六月
44	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	45	延宝五年（一六七七）六月
45	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	46	長森村の年貢皆済目録
46	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	47	寛文七年（一六六七）六月
47	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	48	延宝五年（一六七七）六月
48	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	49	長森村の年貢皆済目録
49	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	50	寛文七年（一六六七）六月
50	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	51	延宝五年（一六七七）六月
51	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	52	長森村の年貢皆済目録
52	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	53	寛文七年（一六六七）六月
53	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	54	延宝五年（一六七七）六月
54	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	55	長森村の年貢皆済目録
55	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	56	寛文七年（一六六七）六月
56	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	57	延宝五年（一六七七）六月
57	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	58	長森村の年貢皆済目録
58	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	59	寛文七年（一六六七）六月
59	延宝五年（一六七七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	60	延宝五年（一六七七）六月
60	長森村の年貢皆済目録	坂戸村の年貢皆済目録	61	長森村の年貢皆済目録
61	寛文七年（一六六七）六月	坂戸村の年貢皆済目録	62	寛文七年（一六六七）六月

37	延宝六年（一六七八）五月	元大割元の仲間規定
38	坂戸村の年貢皆済目録	嘉永七年（一八五四）
39	延宝七年（一六七九）六月	六日町組の諸割り方につき郷元の扱いを不当とする訴え（二点）
40	坂戸村の年貢皆済目録	元文二年（一七三七）
41	山口村の年貢皆済目録	六日町組大割元の変死事件の概要
42	正徳四年（一七一四）八月	元文二年（一七三七）十月
43	下原村など十か村より蔵分け願い	大割元の変死に関する口上書
44	宝歴九年（一七五九）十二月	第一項 村のしくみ
45	御藏番給米の請取り証文	第二節 村の概要
46	47	第一項 村のしくみ
48	49	小栗山村明細帳
49	50	宝曆五年（一七五五）七月
51	52	山口村明細帳
53	54	文政十年（一八二七）一月
55	56	六日町組の御蔵と石高
57	58	六日町組と六日町組の割元
59	60	第一項 六日町組の割元
61	62	（欠年）
63	64	六日町組の御蔵と石高
65	66	舞台村一村借用証文
67	68	第二項 百姓と家
69	70	
71	72	
73	74	

50	正徳二年（一七一二）六月	百姓が娘に簪をもらい相続させる跡式証文···	99
51	寛延二年（一七四九）二月	名子百姓への譲高証文···	101
52	明和三年（一七六六）二月	塩沢組一日市村百姓名跡を得て、罷り越す につき一札···	102
53	天保十一年（一八四〇）十二月	百姓株を抵当に入れ金三分を借用する証文···	102
54	嘉永二年（一八四九）一月	髪結職人への百姓株譲渡証文···	103
55	元禄七年（一六九四）八月	第三節 村役人と村政··· 第一項 村役人の職務と交代···	103 105
56	文政十三年（一八三〇）十二月	百姓が庄屋方への手間人足・代銀等を出さ ないため代官へ口上···	105
57	文久元年（一八六二）十月	野田村役人の選出につき取決め証文··· 第一項 文書と授受と引継ぎ···	107 108
58	天和二年（一六八二）三月	博奕・盜人等防止手形···	108
59	貞享二年（一六八五）十二月	印判紛失につき差上手形···	109
60	元禄三年（一六九〇）十一月	捨子をしないよう差上一札···	109
61	元禄七年（一六九四）三月	他国他領の者へ宿を貸さない旨の請書···	109
62	元禄七年（一六九四）六月	犬の有無につき差出証文···	110
63	元禄十一年（一六九八）十一月	庄屋引継ぎ文書の受取り証文···	111
64	嘉永七年（一八五四）十月	庄屋交代につき諸帳記受取り、三年後に後 役に引渡す取替証文···	111

65	第三項 五人組と宗門改め	寛文十一年（一六七一）二月	余川村宗旨改帳	112	112	第一節　用水と開発	72	宝永七年（一七一〇）三月	坂戸村岩用水江の普請見積り帳
66	元禄十二年（一六九九）三月	五人組抜けにつき願い	117	117	73	享保八年（一七二三）四月	73	元治元年（一八六四）七月	用水堀永昌庵内の分江さらいの取決め
67	天保十四年（一八四三）二月	五人組帳前書きと成員の書上げ	123	123	74	久白新田堰取入口につき対談書	74	渴水のため取水口を上流へ移す取決め	74
68	延宝八年（一六八〇）八月	作物盗みにつき夜番取決め	124	124	75	文政十三年（一八三〇）七月	75	青木新田の取水口と亀巣場入会の交換証文	75
69	貞享四年（一六八七）四月	日損につき番水証文	128	126	76	慶応元年（一八六五）三月	77	青木新田春用水の江代米取決め	78
70	天保四年（一八三三）九月	盜人禁止の村決め			77	正徳元年（一七一二）六月	78	泉村等四か村より新堀新田貰い水取決め	79
71	天保十五年（一八四四）八月	道普請、堰上げ等不参加者への欠席料の取決め			76	文政元年（一八一八）七月			

			八か村用水から新堀新田へ新規分水の取決 め	138
80	文政元年（一八一八）七月		新開につき用水堀増水の対談書	149
	八か村用水の新堀新田への分水に反対		江戸の越後屋庄左衛門より村々見立地の開 発願い	
81	文政九年（一八二六）六月		用水堀が砂で埋まるにつき急ぎ入用普請の 願い	150
	用水堀が砂で埋まるにつき急ぎ入用普請の 願い		慶応二年（一八六六）	89
	第二項 新田開発		川窪村より同村山内での野田村新開差止め 願い	151
82	天保十二年（一八四二）五月		弘化二年（一八四五）十月	90
	魚野川欠込変地起返し地境争い和談		青木新田より魚野川附洲の野手米上納願い り上納願い	152
83	寛政十一年（一七九九）八月		弘化三年（一八四六）四月	91
	用水堀囲・秣場等のため上之島新開停止願 い		古畑新畑入組みにつき秋まで検分延期の願 い	153
84	享保六年（一七二二）八月		坂戸村の田畑見取場人別帳	145
85	弘化四年（一八四七）十月		美佐島久白の畑田成につき用水対談書	147
86	弘化四年（一八四七）十月			87
			新田成につき用水堀普請費用等の規定	148
			弘化四年（一八四七）十月	

109	天保五年（一八三四）十二月 山林譲渡し添え証文	174
110	天保七年（一八三六）十二月 田地譲り渡し証文	
111	安政四年（一八五七）十二月 山一か所質入れ証文	175
112	天保七年（一八三六）十二月 有合せ質入れ屋敷返り証文	175
113	文久二年（一八六二）四月 田地書入れ金子借用証文	176
114	天保十五年（一八四四）十二月 田地有合せ質入れ証文	176
115	嘉永二年（一八四九）十二月 田地質入れ金有合せ証文	177
116	嘉永三年（一八五〇）十二月 質地増し金証文	178
117	万延二年（一八六一）三月 質入田地につき趣意金五両で請戻し取決め	179
118	慶応二年（一八六六）四月 質入れ地請戻しの争いにつき和談	180
119	文政七年（一八二四）十二月 他村への質入地は流地禁止とする村決め	181
120	（欠年） 下原新田にて流質地禁止の村決め	182
121	正保二年（一六四五）十二月 下原新田・山口村山の入会申付書	183
122	寛文九年（一六六九）五月 下原新田きのめ沢の刈敷盜刈につき一札 (欠年)亥一月	183
123	竹俣新田村・小栗山村の山争い訴状	184
124	元禄八年（一六九五）九月 小栗山村・嶋新田村の山論裁許	184
125	享保十七年（一七三二）閏五月 下原新田村の割山取決め証文	185

宝暦七年（一七五七）六月	126
山口村・明川新田と上原村外六か村入会山論 の内済証文	186
宝暦十三年（一七六三）三月	127
永松村、京岡新田村と山論につき訴状	187
安永六年（一七七七）二月	128
山口村の立木山四か所を留山とする証文	188
文政十一年（一八二八）	129
龜朶山境界ならびに山手米の取決め証文 (2) 林産物	190
貞享二年（一六八五）十二月	130
役所より片栗粉の代金受取り	191
元禄十年（一六九七）十一月	131
ころ木流しの川留めにつき取調べ願い	191
正徳二年（一七一二）九月	132
五十沢六か村より六日町村へ木呂流失の通 (欠年) 十月	133
第三節 諸産業と商業	194
第一項 諸産業と諸職	194
(1) 酒造	196
元禄十二年（一六九九）・同十五年（一七〇一） 井口權之助より造り酒運上の受取り	134
享保四年（一七一九）一月	135
六日町村酒屋より造酒米と役銀の書上げ	196
(2) 川獵	198
鮭の役銀取立て切手（五点）	136
認願い	198
弘化三年（一八四六）五月	137
青木新田より鮭役永の出願につき隣村の承 認願い	198
弘化三年（一八四六）閏五月	138
青木新田より鮭役永の出願につき隣村と和 解証文	198
弘化四年（一八四七）一月	139

目 次

青木新田より鮎役永の上納請け証文	200	147 安政六年（一八五九）二月
(3) 職人	201	売り物の刃剣書画預り証文
天明六年（一七八六）九月		(2) 賴母子
鎌治弟子の役錢につき取決め	201	文化十年（一八一三）五月
天保八年（一八三七）十一月		難渋の賴母子親に代り返金する証文
鍛冶屋の元手借用証文	201	206
正徳四年（二七一四）十二月	201	148 天保三年（一八三三）六月
大工役の譲り渡し証文	202	149 頼母子の闇当り金につき加質地証文
安永六年（二七七七）十二月	202	207
髪結より元手の借金証文	203	(3) 為替
第二項 商業と金融	203	150 天保十二年（一八四一）十月
(1) 商業	203	与板の扇屋より金三〇両の為替手形
寛政四年（一七九二）十二月	203	207
塩買入れ借用金の受取り証文	203	(4) 質屋
弘化二年（一八四五）十二月	203	151 寛政十二年（一八〇〇）三月
薬屋の通い帳	204	鑢一丁の質入れ先を間違え謝り証文
嘉永四年（一八五二）	204	208
店の借用証文	205	152 天保二年（一八三二）七月
		質株譲渡しの諸雜費借用証文
		208
		153 天保五年（一八三四）三月
		六日町組へ質株式の許可願い
		209

第四章 六日町の宿駅と河岸	211
第一節 六日町宿と五日町宿	212
第一項 六日町宿	213
154 享保十五年（一七三〇）七月 六日町村宿屋より彦左衛門宿役取上げ願い	213
155 延享三年（一七四六）一月 六日町宿問屋利左衛門より問屋役免除の願 い	213
156 安永八年（一七七九）八月 六日町宿問屋より馬方の増し銭問題につき 吟味願い	213
157 天明六年（一七八六）十月 六日町宿より商物の付通しに反対の書上げ	214
158 天明八年（一七八八）十二月 六日町村馬指・船差の引受け一札	217
159 寛政四年（一七九二）七月 六日町宿の丹後屋より村松藩の定宿存続願 い	218
第二節 六日町河岸	229
160 文化二年（一八〇五）七月 六日町宿旅籠屋仲間にて宿引きの規制取決 め	227
161 享保十五年（一七三〇）二月 長岡藩主の帰国につき六日町本陣の準備概 況	227
162 天保十四年（一八四三）三月 六日町宿本陣より村松藩へ手当願い	224
163 延宝八年（一六八〇）八月 五日町村が幕府から与えられた継立て賃銭 の定め	224
164 文政十三年（一八三〇）二月 五日町宿本陣より長岡藩へ拝借金願い	225
165 文久三年（一八六三）二月 浦佐・五日町両宿の助合人馬につき取決め	225

第一項 船道のしくみ	166
安永三年（一七七四）四月 六日町船道維持のため船持ち全員の申合せ	230
文政十二年（一八二九）三月 船道維持のため運営方法確認の改訂申合せ	232
第二項 特権の維持	235
寛文八年（一六六八）九月 浦佐村と六日町村の船出入について郡奉行	235
大門与兵衛の裁定	235
文政十三年（一八三〇）八月 六日町船頭より長岡問屋にあて積荷につき 差し出した一札	235
文政十三年（一八三〇）十一月 六日町船持から長岡役所へ長岡商人の非法 訴え	236
天保二年（一八三一）十月 六日町船会所より長岡役所へ長岡荷問屋訴 え	240
171	172 天保二年（一八三一）十一月 六日町船道より小千谷御役所へ長岡荷問屋 訴え
173 第三項 さまざまな船の運行	241
享保元年（一七一六）十月 三か宿と筏流し出入りについて六日町三役 人より代官所へ口上書	242
174 享保元年（一七一六）十月 三か村筏流し出入りについて六日町三役人 他から代官所のお尋ねに返答書	243
175 文化四年（一八〇七）五月 東泉田村の渡し場を巡つて西泉田村が大月 村と対立、嘆い庄屋二名の立入りで和解成 立	243
176 弘化二年（一八四五）十一月 小出嶋河岸煮壳茶屋、川船内立入商売につ いて詫書	245
177	246

177	文政六年（一八二三）十二月	船株一道譲渡証文	天保十三年（一八四二）四月	第三節 回米の積下げ	第一項 年貢米の輸送	元禄十六年（一七〇三）五月
178	船老艘壳渡証文	船具一切共	回米積下げ証文	回米の積下げ	回米積下げの運賃金請取書	回米積下げの運賃金請取書
179	247	247	247	248	249	249
180	184	184	184	185	185	186
181	文化九年（一八二二）九月	郡中舟持共から川下げ貯米二割減について願書	文政十二年（一八二九）三月	文政十三年（一八三〇）閏三月	回米請負について契約取決め証文	回米請負について契約取決め証文
182	183	183	183	184	184	185
183	183	183	183	185	185	186
184	183	183	183	186	186	187
185	183	183	183	187	187	187
186	183	183	183	188	188	188
187	183	183	183	189	189	189
188	183	183	183	189	189	189
189	183	183	183	189	189	189
190	183	183	183	190	190	190
191	183	183	183	191	191	191
192	183	183	183	192	192	192
193	183	183	183	193	193	193
194	183	183	183	194	194	194
195	183	183	183	195	195	195
196	183	183	183	196	196	196
197	183	183	183	197	197	197
198	183	183	183	198	198	198
199	183	183	183	199	199	199
200	183	183	183	200	200	200
201	183	183	183	201	201	201
202	183	183	183	202	202	202
203	183	183	183	203	203	203
204	183	183	183	204	204	204
205	183	183	183	205	205	205
206	183	183	183	206	206	206
207	183	183	183	207	207	207
208	183	183	183	208	208	208
209	183	183	183	209	209	209
210	183	183	183	210	210	210
211	183	183	183	211	211	211
212	183	183	183	212	212	212
213	183	183	183	213	213	213
214	183	183	183	214	214	214
215	183	183	183	215	215	215
216	183	183	183	216	216	216
217	183	183	183	217	217	217
218	183	183	183	218	218	218
219	183	183	183	219	219	219
220	183	183	183	220	220	220
221	183	183	183	221	221	221
222	183	183	183	222	222	222
223	183	183	183	223	223	223
224	183	183	183	224	224	224
225	183	183	183	225	225	225
226	183	183	183	226	226	226
227	183	183	183	227	227	227
228	183	183	183	228	228	228
229	183	183	183	229	229	229
230	183	183	183	230	230	230
231	183	183	183	231	231	231
232	183	183	183	232	232	232
233	183	183	183	233	233	233
234	183	183	183	234	234	234
235	183	183	183	235	235	235
236	183	183	183	236	236	236
237	183	183	183	237	237	237
238	183	183	183	238	238	238
239	183	183	183	239	239	239
240	183	183	183	240	240	240
241	183	183	183	241	241	241
242	183	183	183	242	242	242
243	183	183	183	243	243	243
244	183	183	183	244	244	244
245	183	183	183	245	245	245
246	183	183	183	246	246	246
247	183	183	183	247	247	247
248	183	183	183	248	248	248
249	183	183	183	249	249	249
250	183	183	183	250	250	250
251	183	183	183	251	251	251
252	183	183	183	252	252	252
253	183	183	183	253	253	253
254	183	183	183	254	254	254
255	183	183	183	255	255	255
256	183	183	183	256	256	256
257	183	183	183	257	257	257
258	183	183	183	258	258	258
259	183	183	183	259	259	259
260	183	183	183	260	260	260
261	183	183	183	261	261	261
262	183	183	183	262	262	262
263	183	183	183	263	263	263
264	183	183	183	264	264	264
265	183	183	183	265	265	265
266	183	183	183	266	266	266
267	183	183	183	267	267	267
268	183	183	183	268	268	268
269	183	183	183	269	269	269
270	183	183	183	270	270	270
271	183	183	183	271	271	271
272	183	183	183	272	272	272
273	183	183	183	273	273	273
274	183	183	183	274	274	274
275	183	183	183	275	275	275
276	183	183	183	276	276	276
277	183	183	183	277	277	277
278	183	183	183	278	278	278
279	183	183	183	279	279	279
280	183	183	183	280	280	280
281	183	183	183	281	281	281
282	183	183	183	282	282	282
283	183	183	183	283	283	283
284	183	183	183	284	284	284
285	183	183	183	285	285	285
286	183	183	183	286	286	286
287	183	183	183	287	287	287
288	183	183	183	288	288	288
289	183	183	183	289	289	289
290	183	183	183	290	290	290
291	183	183	183	291	291	291
292	183	183	183	292	292	292
293	183	183	183	293	293	293
294	183	183	183	294	294	294
295	183	183	183	295	295	295
296	183	183	183	296	296	296
297	183	183	183	297	297	297
298	183	183	183	298	298	298
299	183	183	183	299	299	299
300	183	183	183	300	300	300
301	183	183	183	301	301	301
302	183	183	183	302	302	302
303	183	183	183	303	303	303
304	183	183	183	304	304	304
305	183	183	183	305	305	305
306	183	183	183	306	306	306
307	183	183	183	307	307	307
308	183	183	183	308	308	308
309	183	183	183	309	309	309
310	183	183	183	310	310	310
311	183	183	183	311	311	311
312	183	183	183	312	312	312
313	183	183	183	313	313	313
314	183	183	183	314	314	314
315	183	183	183	315	315	315
316	183	183	183	316	316	316
317	183	183	183	317	317	317
318	183	183	183	318	318	318
319	183	183	183	319	319	319
320	183	183	183	320	320	320
321	183	183	183	321	321	321
322	183	183	183	322	322	322
323	183	183	183	323	323	323
324	183	183	183	324	324	324
325	183	183	183	325	325	325
326	183	183	183	326	326	326
327	183	183	183	327	327	327
328	183	183	183	328	328	328
329	183	183	183	329	329	329
330	183	183	183	330	330	330
331	183	183	183	331	331	331
332	183	183	183	332	332	332
333	183	183	183	333	333	333
334	183	183	183	334	334	334
335	183	183	183	335	335	335
336	183	183	183	336	336	336
337	183	183	183	337	337	337
338	183	183	183	338	338	338
339	183	183	183	339	339	339
340	183	183	183	340	340	340
341	183	183	183	341	341	341
342	183	183	183	342	342	342
343	183	183	183	343	343	343
344	183	183	183	344	344	344
345	183	183	183	345	345	345
346	183	183	183	346	346	346
347	183	183	183	347	347	347
348	183	183	183	348	348	348
349	183	183	183	349	349	349
350	183	183	183	350	350	350
351	183	183	183	351	351	351
352	183	183	183	352	352	352
353	183	183	183	353	353	353
354	183	183	183	354	354	354
355	183	183	183	355	355	355
356	183	183	183	356	356	356
357	183	183	183	357	357	357
358	183	183	183	358	358	358
359	183	183	183	359	359	359
360	183	183	183	360	360	360
361	183	183	183	361	361	361
362	183	183	183	362	362	362
363	183	183	183	363	363	363
364	183	183	183	364	364	364
365	183	183	183	365	365	365
366	183	183	183	366	366	366
367	183	183	183	367	367	367
368	183	183	183	368	368	368
369	183	183	183	369	369	369
370	183	183	183	370	370	370
371	183	183	183	371	371	371
372	183	183	183	372	372	372
373	183	183	183	373	373	373
374	183	183	183	374	374	374
375	183	183	183	375	375	375
376	183	183	183			

		第六章 町船持が年々休船難渋について御救方 を願い出る.....	259
190	安政三年（一八五六）一月		
	小千谷陣屋より郡中四か組へ回米川下げ賃 米正米渡願い不許可の通達.....	261	
	第二項 難船事故.....		
191	延享四年（一七四七）四月		
	六日町船塩沢組御回米川下げ中に麓村で難 船の届け.....	262	
192	安政二年（一八五五）四月		
	大月蔵の御回米和南津村八郎坊で難船の届 け出.....	264	
193	安政二年（一八五五）四月		
	御回米船難船について再届け出.....	265	
194	天保十一年（一八四〇）		
	内ヶ巻とろと巻難船弁米例の留書き.....	266	
		第五章 暮らしと災害.....	
		第一節 人々の暮らし.....	
195	元禄十二年（一六九九）九月		
	地境争いに際し、神文焼灰を土に混せて飲 み決着.....	269	
196	享保十三年（一七二八）八月		
	田崎村諏訪祭礼の際、脇差にて手傷負わせ につき詫び証文.....	269	
197	文化三年（一八〇六）十月		
	欠之上村の呑み水取入れによる川窪村との 争いにつき一札.....	271	
198	文化八年（一八一二）二月		
	下原新田農休日書上帳.....	273	
199	文政四年（一八二二）二月		
	借家につき、家賃支払・屋根修復・雪掘等 負担契約.....	275	
200	文政十年（一八二七）閏六月		

屋敷内にある家を家財ともども屋敷所有者に売却	207	第一項 家の維持	287
第二項 旅の様子	201	享保十八年（一七三三）十二月	
天保十五年（一八四四）七月	202	烟を借りて名子を住まわせる証文	287
富士山道中記	203	寛保四年（一七四四）三月	
弘化三年（一八四六）三月	204	譲渡された土地代金をめぐり質入れ証文	287
伊勢参宮後の振舞い持參品	205	天明元年（一七八一）八月	
万延元年（一八六〇）十二月	206	本家とマキ一統で墓所につき取決め	288
横浜・鎌倉・江ノ島道中入用記	207	文政四年（一八二二）三月	
第三項 医 療	208	無高にならないため質入れ高の借用証文	289
安永三年（一七七四）七月	209	文政九年（一八二六）十二月	
上州の旅人が六日町に宿泊中病気にかかり、医者が医療を施すも病死の一札	210	本家へ改名と烏帽子親の願い	
享和三年（一八〇三）五月	211	町家一軒の借家証文	290
麻疹の禁忌書	212	安政六年（一八五九）十月	
文久二年（一八六二）九月	213	養子も親同様に本家へ出入り願い	291
麻疹流行の記録	214	第二項 相続と介護	292
第二節 家	215	天保六年（一八三五）九月	
分家するにつき家土蔵等の譲受け一札	216		293

215	天保六年（一八三五）九月	223	安政四年（一八五七）一月
216	分家させるにつき田畠等の譲渡し証文	293	岩崎村若連中の取定め帳
217	文政十年（一八二七）四月	299	第三節 災害と不穏
218	孫娘夫婦の監督を本家に頼む一札	301	第一項 飢饉と対策
219	天明七年（一七八七）十二月	224	（欠年）
220	養子に分家名跡と財産を譲る証文	294	悪作につき泉新田より救済願い
221	嘉永五年（一八五二）三月	225	延宝八年（一六八〇）八月
222	養子につき病氣や老衰の介抱等の取決め	294	飢饉につき田畠の検分願い
223	享保二十年（一七三五）一月	226	天明三年（一七八三）十月
224	母に親不孝のとき備え取決め	295	盜みを防ぐための連判証文
225	第三項 女性と若者	227	（欠年）
226	慶応二年（一八六六）三月	228	夫食米買入れの遅延につき割元へ申入れ
227	女房の狼藉につき夫より謝罪の一札	229	第二項 災害と対策
228	天保十三年（一八四二）二月	230	西泉州田村洪水につき注進
229	奉公中主家に無断で妻帯し謝罪の証文	305	元治元年（一八六四）
230	嘉永七年（一八五四）五月	305	西泉州田村洪水につき年貢金納願い
231	分家の夫死去につき胎児と母親の将来を定める取決め	306	306

		第一項 俳諧と献額	230
		宮村宇右衛門の越訴に係わる書付け(四点) ...	306
231	文化七年(一八一〇)	六日町連による年賀の俳諧 ...	237
232	(欠年)	無事庵慮呂編の樗良追善句集『雪手向』 ...	238
		栗之本知可良追福会の連歌 ...	322
		安政五年(一八五八)五月	322
		慶応二年(一八六六)八月	322
第六章	学芸と信仰	青木新田神明社の献額	322
第一節	寺子屋と私塾	大月村伊夜彦神社の献額	322
233	安政二年(一八五五)	寺子屋の手本『八海山往来』	315
234	(欠年)	寺子屋の手本『五十沢往来』	317
235	文久三年(一八六三)二月	寺子屋の手本『百姓用文通』	319
236	寛政九年(一七九七)七月	寺院で学ぶ寺子の誓約書	320
第二節	俳諧と詩歌	寺尾村正眼寺觀音閣の献額	321
第二項	漢詩		321
244	慶応三年(一八六七)		334
243	安政六年(一八五九)六月		331
242	文化元年(一八〇四)		330
241	竹葉亭にて興行の俳諧の連歌		330
240	寛政五年(一七九三)		328
239	安政五年(一八五八)五月		328
238	文化十四年(一八一七)		322
237	安永七年(一七七八)		322
236	五十沢谷の藏元庄屋に宛てた無名の張り札		313
235	塩沢・六日町方面の騒ぎにつき書留め		309
234	(欠年)		314

245	(欠年)	
	漢詩に歌われた八海山と川船	336
246	天保五年(一八三四)	
	黒田玄鶴「長森原詩」	337
第三項 隨 筆		338
247	文化十四年(一八一七)五月	
	今成慮呂『坂戸山記』(抄)	338
248	文政七年(一八二四)九月	
	今成慮呂『無事庵自然抄』年中行事(抄)	340
第三節 信 仰		344
第一項 寺社の除地願い		345
249	天和二年(一六八二)三月	
	永昌庵より除地の願い	345
250	天和二年(一六八二)四月	
	宝珠院より除地の願い	346
251	天和二年(一六八二)四月	
	実相院より除地の願い	346
252	天和二年(一六八二)六月	
	第三項 遊行上人の回国	347
253	元禄十一年(一六九八)三月	
	岩崎村より諏訪神社の除地願い	347
254	寛保三年(一七四三)九月	
	第二項 村と寺社	348
255	延享四年(一七四七)三月	
	八幡宮神主へ神道による葬祭の許可	348
256	宝曆六年(一七五六)七月	
	新田検地につき除地の境界をめぐる誤り証文	349
257	嘉永五年(一八五二)十一月	
	本尊の再刻につき観音像の借用願い	350
258	文政四年(一八二二)七月	
	旦那寺より巡礼志願の者につき往来一札	351
259	嘉永七年(一八五四)	
	養智院より火防の月護摩につき広告	352

260	文化十一年（一八一四）八月	第一項 天保の飢饉
261	嘉永三年（一八五〇）五月	天保七年（一八三六）二月
	他阿上人を迎えるにつき六日町組の記録	凶作につき五十沢谷の村々より取締りの願い
352		370
第七章 幕末の六日町	361	266
第一節 支配と負担	362	天保九年（一八三八）七月
第一項 支配の変遷	362	盜みを防ぐための連判証文
262 万延元年（一八六〇）十二月	362	（欠年）
最寄替一件につき出府庄屋へ激励書状	362	268 天保四年の悪作と翌年の押出しなどにつき 天保改革期の質素儉約令
第二項 村の負担	365	373
263 天保七年（一八三六）六月	365	269 天保十二年（一八四一）九月
上納金納入期日につき請書	365	天保改革期の質素儉約令
264 安政三年（一八五六）一月	365	374
質素儉約につき申渡し書	365	第二項 村の動き
265 慶応二年（一八六六）一月	365	270 天保二年（一八三二）十二月
兵賦の人足徵発につき村方の取決め	365	六日町御蔵の焼失につき大月村庄屋の日記
第二節 暮らしの変化	367	379
369		271 嘉永七年（一八五四）
272 安政二年（一八五五）十月	383	四十日御蔵の蔵分け議定証文
藏分け願い村々の念書	384	383

				第三項 清水越えの計画
273	文久三年（一八六三）九月	清水新道開削願書	385	5 一八六八年（慶応四）人足差出覚
274	文久三年（一八六三）十二月	清水新道開削願書	385	6 一八六八年（慶応四）
				覚
1	第一章 近代六日町のあけばの	391	7 戸長副勤務規則対談書之事	396
2	第一節 北越戊辰戦争と六日町	391	8 一八八一年（明治十四）七月	396
3	一八六八年（慶応四）	392	9 一八八四年（明治十七）	396
4	北越官軍先鋒軍中日記（抄）	392	10 御用達類控	396
5	一八六八年（慶応四）	393	11 一八七四年（明治七）七月	396
6	清水峠昼夜番野田村隣村被仰渡	393	12 田肥刈取に関する訴状	396
7	一八六八年（慶応四）	393	13 一八七五年（明治八）	396
8	二日町村渡場差止	393	立木伐採山出入に付五か村喫委任	396
9	一八六八年（慶応四）	394	一八七五年（明治八）	396
10	慶應四年夏 御宿日記留 官軍様御縁込	394	406	406

目 次

22	21	20	19	18	17	16	15	14		第三節 新しい産業の発展	修驗宗の廃止と宗旨替え
一八七五年（明治八）	一八七四年（明治七）一月	一八六九年（明治二）	一八七三年（明治六）	一八七五年（明治八）	小千谷民政局からの通達	一八六九年（明治二）	一八七四年（明治七）一月	一八七五年（明治八）	徴兵書上帳 控	山道開削工事竣工	421
419	414	414	412	412	410	410	410	410	407	422	421
30	29	28	27	26	25	24	23	23	23	23	22
一八七二年（明治五）	山口村の神社書上帳	明治十五年度后半期欠之上校実費報告	一八八三年（明治十六）一月	六日町校の開校に関する資料	長岡まで川船通船会社設立	六箇村里道復旧工事	一八九一年（明治二十四）九月	一八九七年（明治三十）	徴兵検査召喚状	山道開削工事竣工	421
435	429	427	427	427	423	423	423	423	408	422	421
共進会出品報告書	川窪村産業の実情	有志農談会の活動	一八七九年（明治十二）	南魚沼郡農談会の活動	一八八四年（明治十七）十二月	一八七六年（明治九）	一八八五年（明治十八）九月	一八九七年（明治三十）	徴兵一件に付儀定書	山道開削工事竣工	421
						一八七六年（明治九）	六日町船の競争	一八九七年（明治三十）	徴兵検査召喚状	山道開削工事竣工	421
						一八七六年（明治九）	六日町船の競争	一八九七年（明治三十）	徴兵書上帳 控	山道開削工事竣工	421

								花火興行願.....
31								450
32	一八七五年（明治八）三月 耕地小作証書.....							437
33	一八七八年（明治十二）二月 田地小作証書.....							437
34	第四節 村の様子.....							438
35	一八七八年（明治十二）八月 余川村村誌.....							439
36	一八七九年（明治十二）九月 コレラの蔓延とその対応.....							444
37	一八八〇年（明治十三）十月 虎列刺予防定約書.....							446
38	一八八一年（明治十四） 虎列埋火葬地.....							448
39	一八七五年（明治八）十一月 芝居興行願.....							449
40	一八八一年（明治十四）八月 芝居興行願.....							450
41	一八八二年（明治十五）七月 読書結社・行余社の結成.....							451
42	一八七〇年（明治三）六月 写真術皆伝.....							452
43	一八七〇年（明治三）九月 新潟の写真の門人から今成無事平への書簡.....							456
44	第二章 町と村の近代化.....							457
45	第一節 町村制下の六日町.....							459
46	一八八五年（明治十八）九月 清水越新道に関する某氏の意見.....							460
47	一八八五年（明治十八）十二月 清水越新道に関する建議.....							461
48	一八七六年（明治九） 相撲興行願.....							462
49	一八七八年（明治二十二）一月 上越鉄道の事.....							463

目 次

							47	一八九一年（明治二十四）八月									
							462	上越鉄道協議会の呼びかけ									
							48	一八八八年（明治二十二）十月									
							463	六日町、坂戸両村合併の件									
							49	一八九五年（明治二十八）三月									
							463	五日町分村独立の請願									
							50	欠之上近世史（抄）									
							51	一八八一年（明治十四）二月									
							52	県下魚沼三郡雪の景況 其の三									
							53	一八八八年（明治二十二）									
							54	国道除雪費									
							55	衆議院議員選挙候補									
							56	余の観念									
							57	我郡目下の形勢を論じて有志諸君に告ぐ 今成無事平									
							58	一八九三年（明治二十六）十一月									
							59	南城内村の稻作品評会									
							60	一八九四年（明治二十七）四月									
							61	南城内村農談会の活動									
							62	一八九九年（明治三十三）十二月									
							63	三魚沼農事試験場長の決議									
							64	一九〇〇年（明治三十三）十二月									
							65	町村農会の状況									
							66	一九〇七年（明治三十）七月									
							67	イモチ病の発生									
							68	一八九七年（明治三十二）九月									
							69	浮塵子の被害									
							70	一九一三年（大正二）八月									
							71	螟虫の被害と農作状況									
							72	一九〇四年（明治三十七）四月									
							73	戦時の食糧増産									
							74	一九〇九年（明治四十二）十二月									
							75	家禽品評会									
							76	農産物品評会の様子									
							475	473	471	469	468	467	467	463	463	463	462
							480	480	479	479	478	478	478	477	477	476	476

目 次

目 次

一九〇一年（明治三十四）四月	84	戸数割付加問題への対応	93
社説 町村合併は強制すべきものにあらず……	500	教育費問題への対応……	94
一九〇一年（明治三十四）五月	85	第六節 宗教と信仰	95
社説 再び町村合併を論ず……	502	八海山總本部教会の神祭	511
一九〇一年（明治三十四）五月	86	一八九六年（明治二十九）	511
南魚沼郡の町村合併問題……	503	一九〇四年（明治三十七）五月	511
一九〇一年（明治三十四）五月	87	神道修成派の日露戦争戰勝祈禱の広告	512
寄書 余川組合と六日町の合併を論ず 余	503	一九〇五年（明治三十八）十二月	512
川越南生……	504	御嶽教橋教会の開設広告	513
一九〇一年（明治三十四）七月	88	一九〇三年（明治三十六）	513
南魚沼郡参事会の決議……	504	南魚沼郡仏教会規定	513
一九〇一年（明治三十四）	89	一八九四年（明治二十七）	513
新潟県自治同盟会南魚沼支部会……	504	八幡宮の郷社昇格……	515
一九〇三年（明治三十六）	90	一九一〇年（明治四十三）二月	515
町村合併問題の経緯……	505	神社の合併について……	515
一九〇三年（明治三十六）十月	91	一九〇五年（明治三十八）	515
南魚沼郡参事会の合併問題への対応……	506	寒念仏の風習……	517
学校建築・役場事務等の問題……	507	第七節 教育と文化の充実	517

102	一八九一年（明治二十四）十二月 学校の位置についての請願	寺尾青年協会「記事論説」（抄）	524
103	一八九四年（明治二十七）一月 元四十日校校舎売却の清算	五十沢村尚武会による幻灯会	525
104	一八九六年（明治二十九）八月 南魚沼郡の不就学について	一九〇七年（明治四十）十月 越南新報から魚沼新報へ	525
105	一九〇一年（明治三十四） 大卷村における取り組み	第三章 大正デモクラシー期の六日町 第一節 町と村、憲政会と政友会	527
106	一九〇五年（明治三十八） 大卷村会で議決された小学校授業料徴収規則	一九一四年（大正三）一月 城内村の村議候補選定会	528
107	一九一〇年（明治四十三） 六日町小学校の生徒監視	一九二四年（大正十三）七月 六日町の町議選挙	529
108	一九〇三年（明治三十六） 南魚沼郡内の夜学校（抄）	一九一五年（大正四）三月 大正四年の総選挙の状況（1）	530
109	一九〇一年（明治三十四） 越南義塾の設立	一九一五年（大正四） 大正四年の総選挙の状況（2）	531
110	一九〇一年（明治三十四） 大正四年の県議選における六日町の動向	一九一五年（大正四）九月	532
111			
112			
113			
114			
115			
116			
117			

目 次

118	一九一五年（大正四）九月	農会報の発刊
119	大正四年の県議選における魚沼南部の動向	一九二九年（昭和四）
120	一九一七年（大正六）四月	農会の活動
120	五十沢村青年党的活動	一九二〇年（大正九）七月
121	五十沢村有権者が政友会入党	一九二四年（大正十三）二月
122	西野雅治の政友会脱退	一九二四年（大正十三）三月
122	政友本党魚沼俱楽部の結成	一九二四年（大正十三）三月
123	第二節 農業と養蚕業	五十沢村女工保護組合の活動
123	一九一九年（大正八）四月	一九一九年（大正八）
124	農村労働力の欠乏	女工募集の状況
124	一九一八年（大正七）	一九二六年（大正十五）昭和二
125	南魚沼の収織高	五十沢村女工保護組合の活動
125	一九二〇年（大正九）十一月	一九二七年（昭和二）九月
126	郡蚕糸業大会宣言	長野県製糸労働争議への対応
126	一九二九年（昭和四）七月	第三節 区有林野統一事業
127	五十沢村林野条例	一九一五年（大正四）十二月
128	区有財産管理のため区会開設の請求	一九二三年（大正十二）九月
129	区有林統一の同意書	一九二三年（大正十二）十月
130		一九二七年（昭和二）九月
131		一九二七年（昭和二）九月
132		一九一五年（大正四）十二月
133		一九二三年（大正十二）九月
532		一九二九年（昭和四）
533		一九二九年（昭和四）
534		一九二九年（昭和四）
535		一九二九年（昭和四）
535		一九二九年（昭和四）
536		一九二九年（昭和四）
537		一九二九年（昭和四）
540		一九二九年（昭和四）
541		一九二九年（昭和四）
542		一九二九年（昭和四）
543		一九二九年（昭和四）
544		一九二九年（昭和四）
548		一九二九年（昭和四）
549		一九二九年（昭和四）
550		一九二九年（昭和四）
550		一九二九年（昭和四）
551		一九二九年（昭和四）
560		一九二九年（昭和四）
561		一九二九年（昭和四）
562		一九二九年（昭和四）
563		一九二九年（昭和四）
564		一九二九年（昭和四）

目 次

135	一九二六年（大正十五）	道路費削減の論議	575
566	五十沢村林野統一事業の経緯		
566	六日町政の変転		
136	一九一三年（大正二）一月	青年訓練所設置をめぐる論議	575
570	鎌倉沢川瀬替え県費補助申請		
137	一九一五年（大正四）二月	里道經營規程	572
571	一九一六年（大正五）二月		
138	六日町坂戸間橋梁等の論議	六日町と塩沢の比較論	572
572	一九一八年（大正七）二月		
139	里道四線路着手をめぐる論議	中俣町長の昭和四年度予算説明	576
573	一九一九年（大正八）一月	一九二九年（昭和四）二月	576
140	目黒町長あいさつ	山口千代松「自治論」（抄）	578
573	一九二一年（大正十）四月	第五節 文化活動の興隆	580
141	魚野川洪水への対処	一九一六年（大正五）	580
573	一九二五年（大正十四）二月	六日町と城内の図書館について	581
142	中俣町長の大正十四年度予算説明	一九二一年（大正十）四月	584
574	一九二六年（大正十五）二月	五十沢村農会の実業補習学校開設申請	
143		一九二〇年（大正九）一月	
		六日町青年会農業部会の設立	

目 次

一九二五年（大正十四）二月	152	六日町の歳末市の賑わい	596
六日町青年団の弁論大会	153	一九一五年（大正四）十二月	596
子守をしながらの通学禁止を決議	154	今年から歳末市は新暦で開催	596
一九二四年（大正十三）	153	一九一四年（大正三）四月	597
六日町中学校の開校決定	155	六日町信用組合の設立	597
一九二五年（大正十四）	155	一九一四年（大正三）二月	597
六日町実科高等女学校の開校申請	156	六日町の廢税運動	597
一九二八年（昭和三）六月	157	五十沢村で製糸工場設立の動き	597
大巻小学校における綴方の指導案（抄）	156	一九一四年（大正三）五月	597
一九二〇年（大正九）三月	157	五十沢村で缶詰工場設立の動き	597
越南義塾の閉鎖	157	一九一九年（大正八）十一月	598
一九二〇年（大正九）三月	158	大巻村五日町で油田開発計画	598
南魚沼郡のスキー大会	159	一九一四年（大正三）六月	598
一九二四年（大正十三）二月	159	六日町の電灯計画	599
坂戸で映画上映	160	一九一七年（大正六）三月	599
第六節 鉄道の延伸と諸産業	160	六日町で休電が続く	600
一九一四年（大正三）一月	160	一九二一年（大正十）七月	600

六日町給電普及期成同盟会の結成	170	六日町給電普及期成同盟会の結成	170
一九一二年（大正元）九月	601	一九一二年（大正元）九月	601
「魚沼新報」の上越線に関する言論（1）	603	「魚沼新報」の上越線に関する言論（1）	603
一九一六年（大正五）一月	604	「魚沼新報」の上越線に関する言論（2）	604
「魚沼新報」の上越線に関する言論（2）	604	一九一四年（大正三）二月	606
上越鉄道敷設の請願	606	一九二一年（大正十）八月	606
一九二一年（大正十）八月	606	六日町駅の位置が決定	607
六日町駅の位置が決定	607	一九二一年（大正十）十一月	607
一九二一年（大正十）十一月	607	六日町駅前道路の開削	607
六日町駅前道路の開削	607	一九二四年（大正十三）三月	607
一九二四年（大正十三）三月	607	上越線開通後の六日町の様子	607
上越線開通後の六日町の様子	607	一九三一年（昭和六）九月	607
一九二九年（昭和四）九月	609	一九三一年（昭和六）九月	609
機関庫誘致競争にやぶれる	609	六日町駅のハッカ輸出	609
六日町駅のハッカ輸出	609	桐材の大量注文	609
桐材の大量注文	609	一九三二年（昭和七）一月	609
一九三二年（昭和七）一月	609	一九三四年（昭和九）八月	609
一九三四年（昭和九）八月	609	麻織物の増産	609
麻織物の増産	609	一九三五年（昭和十）一月	609
一九三五年（昭和十）一月	609	六日町の牛乳移出計画	609
六日町の牛乳移出計画	609	六日町のスキーフ	609
六日町のスキーフ	609	五十沢信用組合の創立	609
五十沢信用組合の創立	609	一九三五年（昭和十）四月	609
一九三五年（昭和十）四月	611	六日町銀行と六十九銀行の合併	611
六日町銀行と六十九銀行の合併	611	一九三一年（昭和六）八月	611
一九三一年（昭和六）八月	611	上越線全通後の六日町の発展策	611
上越線全通後の六日町の発展策	611	一九二七年（昭和二）七月	611
一九二七年（昭和二）七月	611	第一節 上越線の全通	611
第一節 上越線の全通	611	第四章 戦争期の六日町	611

目 次

185	一九三五年（昭和十）四月	185	一九四四年（昭和十九）
	片倉製糸の六日町進出		女子挺身隊結成状況
186	一九三七年（昭和十二）九月	186	一九四五年（昭和二十）
	上越興業株式会社創立の設立		農兵隊基礎訓練実施要綱
187	上越興業株式会社創立の思い出	187	第三節 農民組合と小作争議
	第二節 恐慌・凶作、戦時の本格化と農業		自治研究会の発足
188	一九三六年（昭和十一）	188	一九三〇年（昭和五）四月
	五十沢村の経済更生計画		最初の小作争議
189	一九三六年（昭和十二）	189	一九三四年（昭和九）十月
	五十沢村更生計画への補正・注意		五十沢村の農村恐慌の状況
190	一九三六年（昭和十一）	190	一九三五年（昭和十）四月
	城内村更生計画への補正・注意		城内村の農村恐慌の状況
191	一九三五年（昭和十）	191	一九三四年（昭和九）十一月
	飯米配給払下計画書		農業恐慌下の争議
192	一九三九年（昭和十四）	192	一九三五年（昭和十）十一月
	事変記念の自創事業		地主の土地売却の動き
193	一九四四年（昭和十九）三月	193	小作料の減免を求めた争議
	勤労奉仕猶予に関する陳情書		
628		628	641
			640
			639
			639
			638
			638
			633
			634
			634
			633
			632
			630
			630

203	一九三七年（昭和十二）
204	土地返還をめぐる争議
205	一九三七年（昭和十二）九月
206	南魚沼郡農民組合連合会の結成
207	第四節 昭和恐慌期の六日町
208	一九三一年（昭和六）
209	昭和六年の六日町の情勢
210	一九三二年（昭和七）
211	昭和七年の六日町の情勢
212	六日町中学校の存廃問題
213	一九三二年（昭和七）六月
214	欠之上区長解職の件請願
215	一九三三年（昭和八）三月
216	大卷村の小学校統一問題
217	一九三四年（昭和九）九月
218	押堀川の改修問題
219	一九三四年（昭和九）十一月
220	大卷村の地域対立緩和
221	（次年）
222	大卷村の区有財産をめぐる県知事への請願
223	一九三一年（昭和六）十月
224	城内村の財政悪化
225	一九三四年（昭和九）
226	昭和九年の六日町の情勢
227	一九三四年（昭和九）八月
228	塩沢町との合併計画
229	一九三四年（昭和九）九月
230	労働義勇隊の結成

目 次

220	一九三七年（昭和十二）十月	物資配給・保育所・女学校	229
658	六日町銃後会の結成	一九四三年（昭和十八）七月	672
221	一九三八年（昭和十三）八月	六日町翼賛壮年団の活動	675
658	昭和十三年八月の町会	一九四四年（昭和十九）八月	676
222	一九三九年（昭和十四）	学童疎開	
661	六日町経済更生委員会の設置	一九四五（昭和二十）	
661	昭和十四年度町費予算説明	昭和十九年度追加予算	
223	一九三九年（昭和十四）二月	一九四五年（昭和二十）	
662	昭和十四年度町費予算説明	一九四五年（昭和二十）	
224	一九三八年（昭和十三）	戦争関係費の増大	
664	六日町商工相談所規程	一九四四年（昭和十九）	
225	第六節 総動員体制と六日町	戦死者町葬の様子	
664	一九四三年（昭和十八）	一九四五年（昭和二十）	
226	今成幸一町長の就任	除雪の苦勞	
666	一九四三年（昭和十八）十二月	234	
227	皇國自治体確立の決議	233	
667	一九四四年（昭和十九）二月	232	
228	厚生事業協会の設立建議	231	
668	一九四四年（昭和十九）	230	
	第一章 戦後の六日町	229	
	第一節 敗戦から立ち上がる		
683			
684			

1	一九四五年（昭和二十） 敗戦直後の六日町議会	685
2	一九四六年（昭和二十一）八月 郡民の友生る 六日町長 今成幸一	685
3	一九四六年（昭和二十一）十二月 六日町の食糧事情	686
4	一九四六年（昭和二十二）十二月 六日町国土復興計画	687
5	一九四六年（昭和二十二）十月 民主連盟近く結成 事務所は六日町へ置く	690
6	一九四六年（昭和二十二）十一月 「魚沼新報」社説 青年の奮起を望む	691
7	一九四六年（昭和二十二）十二月 開田問題を討議 関係地方民の声を ブラ ウン博士聴取	691
8	一九四七年（昭和二十二）一月 南魚労働者大会 全郡を一丸として発足	693
9	一九四七年（昭和二十二）四月 岩野良平六日町長就任時の所信	702
10	一九四七年（昭和二十二）四月 町の発展と町民生活安定に奉仕 雲尾六日 町長語る	693
11	一九四八年（昭和二十三）二月 国道三國線完成へ 期成同盟役員決る	694
12	一九四八年（昭和二十三）四月 三魚沼提携雪害対策	695
13	一九四八年（昭和二十三）五月 女学校をめぐる町会論議	695
14	一九四八年（昭和二十三）九月 衛生事務等をめぐる町会論議	697
15	一九五一年（昭和二十六） 南魚沼郡中央土地改良区事業概況（抄）	698
16	一九五七年（昭和三十二） 西部開田の今昔 魚江庵主人	699
17	一九五四年（昭和二十九） 岩野良平六日町長就任時の所信	35

							第一節 農地改革と食糧増産
24	23	22	21	20	19	18	(1) 農地改革
							食糧増産
							(2) (1)
							一九四五・五〇年（昭和二十一・二十五）
							六日町地域農地委員会別農地改革記録調査
							結果明細表
							一九四七～四八年（昭和二十二～二十三）
							南魚沼郡農地改革記録結果総括表
							一九四七～四八年（昭和二十二～二十三）
							農地解放実績調査（六日町）
							農地解放実績調査（五十沢）
							一九四七～四八年（昭和二十二～二十三）
							農地解放実績調査（城内）
							一九四七～四八年（昭和二十二～二十三）
							農地解放実績調査（大巻）
							一九六五年（昭和四十）六月
							農地被買収者等に対する給付金の支給に關
							する法律（昭和四十年六月三日）にもとづく給付金請求書
							一九四六年（昭和二十一年）
							農地委員（第一回城内村の場合）
							一九五二年（昭和二十七）三月
							南魚の水稻生産力
							一九四九年六一年（昭和二十四～三十六）
							農業生産力発展のための技術普及
							一九四九年六〇年（昭和四～三十五）
							西部開拓史
							一九五三年（昭和二十八）十一月
							六日町地区開拓計画概要書
							第三節 新教育を求めて
							一九四五年（昭和二十一年）
							民主的な教育研究協議会の新設
							一九四七年（昭和二十二年）
							新制中学校の誕生
							一九四七年（昭和二十二年）

目 次

50	一九四七年（昭和二十二）四月	59	一九四六年（昭和二十二）十二月
733	七洋工芸会社の演劇会	737	修驗宗の独立
51	一九四九年（昭和二十四）五月	60	一九四九年（昭和二十四）九月
734	南魚沼演劇協議会の結成	737	修驗宗管長の来町と行事
52	一九四七年（昭和二十二）	61	一九四九年（昭和二十四）
734	六日町社会教育委員会による巡回講演会	738	余川古墳の学術調査
53	一九四八年（昭和二十三）六月	62	ナトコ映写機利用に係る通知
734	六日町社会教育委員の選考	738	一九五六年（昭和三十一）一月
54	一九四八年（昭和二十三）七月	63	村内放送開始に係る五十沢村役場内の回覧
735	六日町公民館の開館	740	一九六〇年（昭和三十五）
55	一九四九年（昭和二十四）十一月	64	城内村の有線放送
735	六日町公民館についての紹介記事	740	
56	一九四九年（昭和二十四）五月	738	
736	大巻村の成人式	740	
57	一九四六年（昭和二十一）八月	741	
736	夏山登山の記事	741	
58	一九四九年（昭和二十四）八月	742	
737	六日町野球連盟の結成記念試合	741	
第二章 高度経済成長期の六日町			
第一節 新六日町の発足			
65	一九五五年（昭和三十）一月	742	
66	警官も出動警戒 騒乱の城内村合併村委会	743	
66	一九五五年（昭和三十）三月	743	

74	73	72	71	70	69	68	67	67	75
一九五九年（昭和三十四）一月	塩沢町の選挙 合併慎重派優位に立つ……………	南魚第三ブロック 大巻村五日町問題も円満解決……………	六日町誕生 南魚北部郷の合併……………	一九五六六年（昭和三十二）二月	一九五六六年（昭和三十二）一月	大巻村合併申入れ 南魚北部四か村合併……………	城内村合併……………	「八海村」で四月から発足 城内、五十沢	塩沢町 六日町との合併に終止符……………
753	751	750	748	745	746	744	743	747	746
一九五七年（昭和三十二）二月	第一節 温泉の町六日町……………	新町建設計画……………	一九六九年（昭和四十四）三月	六日町・塩沢の合併 町議改選を機会に……………	一九六八年（昭和四十三）十一月	一九六五年（昭和四十）二月	合併促進を決議 臨時議会で採択……………	一九六七年（昭和四十二）三月	一九六八年（昭和四十三）二月
73	81	80	79	78	77	76	747	747	747
一九五七年（昭和三十二）二月	一九五六六年（昭和三十二）六月	一九五九年（昭和三十四）九月	一九六九年（昭和四十四）三月	六日町・塩沢合併三たび流産 首脳部のまさに批判……………	一九六八年（昭和四十三）十一月	一九六七年（昭和四十二）三月	合併は遂に見送りか 市制への努力水のあわ……………	一九六九年（昭和四十四）三月	一九六九年（昭和四十四）二月
746	81	80	79	78	77	76	747	747	746

目 次

89	88	87	86	85	84	83	82
名も六日町まつり 商工まつりから発展し…… 誘……	農民温泉計画書進む 一九五九年（昭和三十四）八月 一九五九年（昭和三十四）一月	温泉街計画進む 来週旅館建設に着手…… 一九五八年（昭和三十三）十一月	ほくほくのスキー場…… 一九五八年（昭和三十三）一月	温泉、お六甚句とデビューした八箇峠スキ ー場……	西山を大観光地に 中越バス会社乗出す…… 一九五八年（昭和三十三）七月	「六日町資源開発株式会社」に対する出資…… 一九五八年（昭和三十三）七月	六日町で湯脈つき当てる……
757	756	756	755	755	754	754	753
90	91	92	93	94	95	96	95
ぐんぐん上昇する地価 六日町三年間で三 倍に……	岩野町長語る……	一九六〇年（昭和三十五）九月 建築ブームの年 鉄筋コンクリート建が目 立つ……	一九六六年（昭和四十二）八月 南魚の景気低調 公共投資減が大きな因 ……	一九六二年（昭和三十七）七月 地元資金だけでスキー場開発 五日町観光 会社……	五日町スキー場の誕生の頃…… 一九六八年（昭和四十三）十月 二キロの直線コース 上越M.S.国際スキー 場……	一九五七年（昭和三十二）十一月 六日町で湯脈つき当てる……	一九五八年（昭和三十三）一月
757	760	761	762	763	764	765	766

								第三節 交通体系と産業の刷新
105	106	107	108	109	110	111	112	一九六七年（昭和四十二）八月
								魚沼スカイライン着工
770	771	771	771	772	772	773	773	上越線複線化起工式
763	765	766	766	767	767	768	768	上越線複線化完成（きょう盛んな開通式）
								一九七一年（昭和四十六）五月
770	771	771	771	772	772	773	773	スカイライン開通 地元十年の労苦実る
								十日町市六日町線開通、今冬から無雪化
105	106	107	108	109	110	111	112	一九七一年（昭和四十六）四月
								六日町にとき一往復停車 東京日帰りも容易に
770	771	771	771	772	772	773	773	开始
								本格的に亜鉛鉱開発へ 十二億円投じ工事
770	771	771	771	772	772	773	773	一九五六年（昭和三十二）六月
								北越北線 直江津六日町間が工事線に
763	765	766	767	768	769	770	771	一九六四年（昭和三十九）七月
								再び混乱の雲行き 上越西線問題
763	765	766	767	768	769	770	771	のべ九〇万人が来郡 新記録のスキーヤー
								一九五六九年（昭和三十四）十月
763	765	766	767	768	769	770	771	上越国道工事の無事祈願
								一九六六年（昭和四十二）八月
763	765	766	767	768	769	770	771	表裏日本結ぶ新国道完成
								一九六六年（昭和四十二）二月
763	765	766	767	768	769	770	771	一九六六年（昭和四十二）六月
								宿願の起工に歓喜 豪雪の山間貫く北越線
763	765	766	767	768	769	770	771	一九六八年（昭和四十三）四月
								一九六四年（昭和三十九）二月
763	765	766	767	768	769	770	771	魚沼スカイライン建設期成同盟会の結成
								一九六四年（昭和三十九）五月
763	765	766	767	768	769	770	771	月産二五〇〇トン採掘 亜鉛鉱掘削本格化

113	一九七〇年（昭和四十五）七月 カドミウム汚染はごめん 議会が実態調査 へ.....	778
114	一九七〇年（昭和四十五）十月 宇田沢川などからカドミウム汚染米.....	773
115	一九七一年（昭和四十六）二月 東邦亜鉛南越鉱業所 三月末で操業を中止.....	774
116	一九七一年（昭和四十六）十一月 東邦亜鉛 カドミ問題を残して閉山へ.....	775
117	一九七二年（昭和四十七）四月 六日町のカドミウム汚染.....	776
118	一九六八年（昭和四十三）十一月 安い用地と豊富な労力 六日町は工場進出 ラッシュ.....	777
119	一九六九年（昭和四十四）三月 工場進出目立つが 無計画な誘致は混乱の 恐れ.....	776
120	一九七二年（昭和四十七）七月 魚沼大会 豪雪地を克服し、明るい将来実 り.....	777
121	一九七三年（昭和四十八）三月 アパートブーム 手軽な経営に魅力.....	778
122	一九六一年（昭和三十六）五月 西部開田完工を盛大に祝賀.....	779
123	一九五九年（昭和三十四） 本格調査にかかる魚野川沿岸開発事業.....	779
124	一九六六年（昭和四十二）十月 魚野川東部開拓事業起工式.....	780
125	一九六八年（昭和四十三）六月 喜びの開田取水式 魚野川東部開拓進む.....	780
126	一九六五年（昭和四十） 終戦の落し子 開拓部落.....	781
127	一九六八年（昭和四十三）十月 魚沼大会 豪雪地を克服し、明るい将来実 り.....	781

129	現誓う	年
130	一九六〇年（昭和四十五）八月 「六日町総合計画」	129 783 783
131	第四節 教育と文化	
130	一九六八年（昭和四十三）十月 六日町女子高建設地で起工式	790
131	一九八〇年（昭和五十五）一月 六日町小の分離難航 学区線引き案を撤回	791
132	一九八三年（昭和五十八）一月 欠之上小問題 反対住民は徹底抗戦を表明	792
133	一九九五年（平成七）七月 不屈の雪国魂 甲子園つかんだ！	792
134	一九九五年（平成七）三月 走り出す体育科 新生 八海高校の挑戦	793
135	一九六〇年（昭和三十五）六月 南魚APクラブ発会	793
136	一九八七年（昭和六十二）六月 八海文庫詩祭り 文化人と交流 指導十五	
137	一九九八年（平成十）十一月 名画眺めて電車待ち J.R.六日町駅構内に	137 795 794
138	第三章 高速交通体系の中の六日町 第一節 高速交通体系の整備と町政	797
139	一九七一年（昭和四十六）十月 新幹線駅は湯沢・浦佐 県内五か所 六日町見送り	797
140	一九七一年（昭和四十八）二月 関越高速道に取り組む 六日町楽観戒め奮起	798
141	一九七三年（昭和四十八）二月 高速交通体系への対応	799
142	一九六四年（昭和三十九）五月 関越高速道期成同盟	802

149	148	147	146	145	144	143	150
米づくり実現へ共闘会議	北陸農政局	魚野川東部開拓地	國の方針に反し田植え	なりふり構わぬ中央・大手	魚沼は観光ラッシュ	関越道景気のスキー場	一九七六年（昭和五十二）六月
魚野川東部の水	水平畑で通達	魚野川開拓地の田植え	国の方針に反し田植え	小工事も根こそぎ	バス連ね紅葉狩り	一九八五年（昭和六十）十一月	国営魚野川東部開拓地 農民 訴訟を決意
	畑作営農推進	やめろとも黙認も	設立	一九八三年（昭和五十八）十一月	……	一九八六年（昭和六十二）三月	一九七七年（昭和五十二）十月
	せよ	できず	自然公園審議会	一九八三年（昭和五十九）五月	……	一九八六年（昭和六十二）三月	魚野川東部開拓地 二十一日に完工式
156	155	154	153	152	151	150	806
一九七六年（昭和五十二）	一九七三年（昭和四十八）七月	一九七一年（昭和四十六）十二月	一九六五年（昭和四十）十二月	第二節 スキーと史跡の町	一九七一年（昭和四十六）三月	平畑	807
	待つたかけられた観光開発	越後三山など国定公園に指定	用地買収で契約	一九七一年（昭和四十六）三月	魚沼山岳を国立公園に促進期成同盟会を設立	一九七六年（昭和五十二）六月	808
	生活のため	自然公園審議会	観光会社が八海山開発で	一九七七年（昭和五十二）十月	農民 訴訟を決意	国営魚野川東部開拓地 農民 訴訟を決意	809
811	811	806	804	804	803	802	

八海山ロープウェー 頂上開発は中止……	812
一九八一年（昭和五十六）十二月	
八海山ろく開発計画 議会側、協定に同意……	813
一九八三年（昭和五十八）十一月	
八海山今季から登場……	
一九八八年（昭和六十三）八月	
六十六年冬季国体スキー競技 正式決定……	814
一九九〇年（平成二）一月	
歩くスキー大会 雪のイメージアップへ……	814
一九九二年（平成四）四月	
暖冬しのぎ史上最高の一千万人突破……	815
一九七〇年（昭和四十五）七月	
破壊される埋蔵文化財 社会開発の犠牲に……	815
一九七六年（昭和五十二）十一月	
見直そく坂戸城跡 総合開発委スタート……	816
一九七八年（昭和五十三）三月	
坂戸城など二六件 国の新文化財……	
一九七九年（昭和五十四）三月	
八海山ロープウェー 頂上開発は中止……	812
一九九三年（平成五）四月	
シンボル坂戸山 十年かけて整備……	817
第三節 集積する企業と公共施設……	818
一九七三年（昭和四十八）六月	
人口増加続く 新幹線工事などが原因……	819
一九七四年（昭和四十九）九月	
十年前の人口に戻った 住宅団地で急増……	819
一九七五年（昭和五十）三月	
解雇五百人近くも 農村工場に集中……	820
一九七五年（昭和五十）八月	
不況につれない農村工場 定昇・ペアともゼロ……	821
一九七五年（昭和五十）一月	
開かれる交通網 期待の工場像……	821
一九八五年（昭和六十）八月	
新堀工業団地 売り出し中……	
一九七五年（昭和五十）十二月	
坂戸城跡 国の文化財指定を告示……	816
一九九三年（平成五）四月	
シンボル坂戸山 十年かけて整備……	817
第三節 集積する企業と公共施設……	818
一九七三年（昭和四十八）六月	
人口増加続く 新幹線工事などが原因……	819
一九七四年（昭和四十九）九月	
十年前の人口に戻った 住宅団地で急増……	819
一九七五年（昭和五十）三月	
解雇五百人近くも 農村工場に集中……	820
一九七五年（昭和五十）八月	
不況につれない農村工場 定昇・ペアともゼロ……	821
一九七五年（昭和五十）一月	
開かれる交通網 期待の工場像……	821
一九八五年（昭和六十）八月	
新堀工業団地 売り出し中……	
一九七五年（昭和五十）十二月	

目 次

181	180	179	178	177	176	175	174	順調に進む六日町の駅裏開発	八海山文化村十一月三日オープン
								一九七七年（昭和五十二）十一月
								大谷ホームセンターの六日町進出
								一九八九年（平成元）一月	822
								初の大型店来年にも誕生 地元主導で歩み
								寄る.....	823
								一九九三年（平成五）八月
								縮小か撤退か 大型SCに反対運動
								一九九六年（平成八）十二月	825
								ジャスコ六日町SCと駅前ショッピングセ
								ンタ.....	826
								一九八六年（昭和六十一）十一月
								雪国まいたけ 生産拡大へ三工場体制	828
								一九八九年（平成元）四月
								六日町文化会館が開館	828
								一九九〇年（平成二）十一月
								ディスポート六日町 きょう開館式	828
								一九九〇年（平成二）
188	187	186	185	184	183	182	181	第四節 災害を乗り越えて
								一九六〇年（昭和三十五）七月
								平手川の流路変更 水害常習地救う
								一九七四年（昭和四十九）四月	831
								融雪水に悩む六日町平手川流域住民
								五月 末に完工	832
								一九八一年（昭和五十六）八月
								被害五億円超す 後始末に懸命の汗	833
								一九八五年（昭和六十）六月
								魚野川改修 梅雨でも大丈夫 本流筋は完	833
								工.....	833
								一九六七年（昭和四十二）三月
								宇田沢川河川改修促進に関する陳情	834
								一九六九年（昭和四十四）八月
								豪雨禍 北へ広がる魚沼で三部落が孤立	835
								一九六九年（昭和四十四）八月
								収穫皆無百ヘクタール越す 鉄砲水 冠水	835

189	の悪循環.....	197	一九九三年（平成五）七月
190	一九九二年（平成四）十月	198	ワースト1 井戸の集中管理検討.....
191	三国川ダム完成 関係者出席し記念式典.....	199	一九九三年（平成五）十一月
192	一九七〇年（昭和四十五）八月	200	井戸掘削を禁止 地盤沈下防止で条例可決：
193	五十沢川 三国川への水路完成 もう洪水	201	一九九六年（平成八）一月
194	の心配はない.....	202	脱消パイの切り札に流雪溝 取水ポンプが
195	一九八七年（昭和六十二）一月	203	完成.....
196	消雪から流雪へ 初の実験、威力発揮.....	204	一九五九年（昭和三十四）九月
197	六日町で克雪シンポ 多彩な提言に沸く.....	205	伊勢湾台風南魚をおそう.....
198	一九八六年（平成八）十一月	206	第五節 新時代の六日町へ.....
199	冬場の節水に本腰 住民に危機感浸透.....	207	一九九七年（平成九）十二月
200	一九七四年（昭和四十九）六月	208	新規の大型公共ほばゼロ 大蔵省原案本県
201	六日町市街地が地盤沈下の兆し.....	209	関係.....
202	一九七五年（昭和五十）二月	210	二〇〇一年（平成十三）三月
203	六日町の地下水 目立つ水位の低下.....	211	将来の六日町 町民の意識.....
204	一九八五年（昭和六十）五月	212	二〇〇一年（平成十三）三月
205	加速する地盤沈下 町あげ対策模索.....	213	
206	841	214	
207	842	215	
208	843	216	
209	844	217	
210	845	218	
211	846	219	
212	847	220	
213	848	221	

六日町で誇れるもの	205
二〇〇一年（平成十三）三月	206
六日町で困っていること	206
二〇〇一年（平成十三）三月	206
ホワイトピア六日町（第六次六日町総合計 画）	849
付録	848
近世資料を読む手助けに	
執筆者一覧	857
郷土史編さん関係者名簿	857
資料所蔵者一覧	861
あとがき	863
	866

袋詰付図

『正保

越後国絵図』

魚沼郡南部